

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立高殿小学校

令和 7 年 4 月

大阪市長 高殿小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和7年度の児童数は661人、学級数は26である。昨年度から1学級減となったが、児童数は12名増えた。特別支援や通級など、個別な対応を要する児童も多い。そのための場所づくりが必要だが、空き教室にエアコンが設置されていないのは、長年の本校の施設面での課題である。

【安心・安全な教育の推進について】

- ・令和6年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、学校の平均値84.6%であり、目標を達成できた。(3年84.8%、4年89.0%、5年88%、6年76.6%) 令和6年度に認知した案件は、すべて解消できている。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率は、令和5年度4名がR6年度には11名となった。その11名も登校できたり授業に参加できたりする日数が向上しており、目標を達成できた。今後も、SC、SSW、区役所保健子育て課、こども相談センターと密に連携し、組織的な対応の継続に努めている。

【未来を切り拓く学力・体力の向上について】

- ・令和6年度全国学力・学習状況調査において、全国平均から、国語は3.7ポイント下回り、算数は0.6ポイント上回った。
- ・令和6年度小学校学力経年調査において、次の学年、教科で、大阪市平均を上回った。(3年国語、社会、算数、理科・4年国語、社会・5年外国語・6年国語、社会、算数、理科、英語)
- ・令和6年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、学校の平均値35.3%であり、目標を達成できた。(3年38.1%、4年36.0%、5年39.8%、6年27.3%)
- ・令和6年度小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答した3～6年生児童の割合は、外国語(英語)3年97.1%、4年89.0%、5年77.8%、6年81.9%、理科は3年87.6%、4年88.0%、5年81.5%、6年70.2%だった。この2教科の平均正答率は大阪市平均にわずかに及ばなかったものもあったが、学習に対して肯定的に捉えている児童は多かった。
- ・令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男子49.66点、女子50.98点で、体力合計点は全国平均を下回ったものの、男子は2種目(シャトルラン、50m走)女子は3種目(上体起こし、シャトルラン、50m走)で全国平均を上回った。
- ・児童の健やかな身体の育成に関して、令和6年度末校内アンケートでは体力面では「休み時間、自ら進んで運動していますか(目標66%)」、健康面では「自分からすすんで

手洗いやうがいをしていますか（目標 88%）」の項目で調査した。体力面では最も肯定的な回答をした児童が 44.1%であり目標を達することができず、健康面では 94.2%であり、目標を達成できた。

【学びを支える教育環境の充実について】

- ・学校教育を支える基盤的なツールとして、I C Tを積極的に活用できるようになってきているが、家庭への持ち帰りは今後の課題である。低学年の有効活用の方法を模索している。今夏、学習者用端末の入れ替えがあり、新しい学習ツールを習得する必要がある。
- ・「ゆとりの日」の設定は、令和 5 年 5 月から毎月設定できている。また、年次有給休暇を 10 日以上取得できた教職員の割合は 93.5%であり、目標を達成できた。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 は、時間外勤務の上限「月 45 時間」「年間 360 時間」としている。仕事の能率化を図る組織を整えていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和 7 年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 87%以上にする。（令和 6 年度 3 年 79.2%、4 年 88.0%、5 年 91.4%、6 年 81.4%）
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 94%以上にする。（令和 6 年度 3 年 93.6%、4 年 94.5%、5 年 93.8%、6 年 95.4%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和 7 年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35%以上にする。（令和 6 年度 3 年 38.5%、4 年 46.3%、5 年 32.1%、6 年 51.2%）
- ・令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を 68%以上にする。（令和 6 年度 65.7%）

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 80%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕
- ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を、58%にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 94%以上にする。
- ・「新しい生活様式」の中での地域や区役所と連携した防災・減災教育を計画的に実施する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 43%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす運動遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 66%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 55%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕
- ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を、58%以上にする。

【その他】

3 本年度の自己評価結果の総括 R7 年度の総括

(様式2)

大阪市内 高殿小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を94%以上にする。 ・「新しい生活様式」の中での地域や区役所と連携した防災・減災教育を計画的に実施する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を知る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 ・子どもたちが安心して過ごせるようにいじめについて考える取り組みを学期ごと各学級で計画的に実施して、いじめを絶対に許さない子どもを育成する。 ・相談室を設置して、家庭や学校生活に不安を抱える児童の居場所づくりをし、学びサポーターの協力も得ながら全教職員で児童への生活・学習支援を実施する。	
指標 ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を27%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 ・避難訓練(地震・津波・火災)、交通安全指導(自転車・歩行)、安全講話(旭警察署と連携)、不審者対応訓練(教職員)、集団下校(地域子ども会)、緊急時児童引き渡し訓練、防災・減災教育などを計画的に行い、実施について学校からの通知文、学校ホームページ、保護者メール(ミマモルメ)で保護者に周知する。	
指標 ・保護者アンケートにおける「学校は、子どもたちが安心して、安全に過ごせる学校づくりに努めている(どちらかと言えば努めている)」と答える割合を90%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】 ・「友だちと仲良くしている」と答える子どもを育てるために、同学年、異学年が繋がり合える取り組みを計画的に実施する。	

<ul style="list-style-type: none"> ・異学年との交流を年間３回以上実施する。 ・集会委員会でのたてわり遊びを年間１０回以上実施する。 ・学級遊びなどの子どもたち同士が繋がる活動を月に３回以上実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケートで、「友だちと仲よくしている（どちらかと言えば仲よくしている）」に対して、肯定的に回答する児童の割合を９２％以上にする。 ・校内アンケートで、「学校に行くのは楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、９０％以上とする。 ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか？」に対して肯定的に回答する児童の割合を、８０％以上とする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 R7 年度の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式2)

大阪市内立 高殿小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす運動遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞会や異学年交流など、講堂等を使用して積極的に行い、教養を深め豊かな情操を育成することで、活発な話し合い活動に繋げていく。 ・研究教科である国語科だけではなく算数科など他教科においても、授業中や夏休みに練習問題を積み重ね、子どもたちの学力を向上させることで、話し合い活動を積極的に行う素地を育む。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケートの、「話し合い活動に積極的に参加している。」の項目において、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。 ・校内アンケートの、「話し合い活動をする時に、タブレットや発表ボード、付箋などを効果的に使うことができる。」の項目において、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師を招聘し教職員研修行ったり、校内「まなびー」による授業研究活動をすべての教員が実施したりする <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業者が一人一回以上授業を行う。 	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育科学習や体育的行事を通して、運動の日常化をすすめるとともに、自ら外遊びをする機会を増やすために、いろいろな遊びを体験させる。 ・学期に1回、体育部や運動委員会で体育備品の安全点検を行う。 ・年間2回以上、子どもたちが楽しく遊べる場を設定する。 ・年間2回、全校的な運動の取り組みを実施する。 ・週に1回以上学級で外遊びをする機会をつくる。 <hr/> <p>指標</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケートで、「ふだんから、学校や家で、外遊びや運動をしている（どちらかと言えばしている）」と答える児童の割合を70%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 R7 年度の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市長 高殿小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 80 % 以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕 ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を、58 % にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育 D X (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ・学習者用端末、iPad を使いやすいように整備し、ICT 機器を活用した授業を行う。 指標 ・校内アンケートの、「日々の学校活動で学習者用端末を活用することができる」の項目について、肯定的に答える 2 年生以上の児童の割合を 70 % 以上にする。	
取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・学年や校務分掌部内の連携を豊かにし、仕事の能率を上げる。会議の進め方や学校行事の案件などを企画会や四部会で検討する。 指標 ・毎週必ず 1 回「ゆとりの日」を設定する。 ・毎週必ず 1 回は学年会を設定する。 ・職員会議を 30 分で設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 R7 年度の結果と分析	
次年度への改善点	